

9条Tシャツ着て反核平和自転車リレー！東在宅センター

6月23、24日、お揃いの9条Tシャツを着た41名が参加して、第12回道央反核平和自転車リレーが行なわれ、職場からも3名の職員が参加しました。

これは道央圏の民医連職員有志がつくる「明るいチャリダーの会」が毎年行っているもので、今年のコースは旭川一条通病院をスタートに、ゴールの勤医協中央病院までの約170キロ。

途中の芦別では「ビキニ被曝」の学習と「署名のもつ力」を考えあつた後、道の駅で「核廃絶」の署名活動も。宿舎では「福島原発事故」などの学習も、夜遅くまで平和について語りあ



小選挙区制固定化、比例定数削減へ 連動する「0増5減」案、 民主に続き自民も提出へ

この間、一票の格差是正など衆議院選挙制度に関する各党協議会では、現行の小選挙区制が大政党有利に民意をゆがめ、抜本的な改革こそが必要であり、民主党の「比例80削減」押しつけは問題と、民主党以外の各党の認識が一致していました。

ところが民主党政権は、消費税増税法成立などをめざして、民・自・公「3党談合」を推進する最中に、小選挙区の0増5減、比例定数の40削減、一部に連用制の導入、さらに次々回の総選挙までには合計で80削減することを内容とする法案を単独提出しました。続いて自民党も19日、0増5減案を提出することを決めたことは、「一票の格差是正」を名目に、小選挙区制固定化の面でも事実上の「大連立」に踏み込んだことを表しています。憲法が指摘する「正当に選挙された国会」にするためにも、選挙制度の抜本的な改革を求める運動がますます重要になっています。

事務局長の渡辺さんは、今は週2日のデイサービスと外来受診など、通院に忙しい毎日です。以前は地域の方々に戦争体験を語ってもらい、それを冊子にまとめ、「のほほん便り」の発行など

九条の会ポスターも 新しくして ―農本九条を語る会

ました。参加者からは「体力的にはきつかったが走っている間、沿道から手を振つての応援もあり、反核の意識を持った方々がいることを実感し嬉しかった」、「沿道や宿泊施設の方からも原発には反対している、がんばってと声を掛けられ、どんどんアピールすればみんなに伝わる事が感じられ、参加して良かった」等の感想もありました。

わたしと憲法・9条 No38 高校前宣伝、17.8年に！

新婦人札幌東支部・事務局長 津野穂子

私と新婦人の出会いは、地元の新婦人が「算数・国語教室」をやっていて、当時小学1年の長男と見学に行き通うことになり、会員になりました。その後、道の母親大会に参加したのが、日曜活動の初め！で、3.8国際婦人（当時）デーへの参加が夜の活動の初め！でした。それまで家を空けたことのない家庭の主婦でしたが、夫が快く許してくれたことに感謝しています！班で集まるたびに誘われて勉強しに行き、社会に対する自覚が深まり女性の権利にも目覚めて行きました。

平和の問題では、1995年前後から高校前で「核兵器廃絶・憲法9条を守る」署名活動を行い17.8年になります。「次の世代へ、平和のバトンを大切に」と取り組んでいます。生徒たちにとっては、最初に触れる平和の署名との重みを感じ大切に行きたいと思えます。「核兵器廃絶」の署名に取りくむ中で、最初の集めるだけから、「世界の世論を変える」ことの素晴らしさへの自覚が深まっています。今年広島で開かれる原水爆禁止世界大会成功をめざして、東支部からも代表を送ります！



を行なってきました。それが困難になつて来たいま、渡辺さんは「何ができるか」を考え、玄関フードに貼り出す九条の会のポスターを真新しくし、益川敏英講演会のそれと貼り出しました。それは、みなさんが乗車したデイサービスが、最後に渡辺宅に寄り出発までの間、みんなが見ているからです。時々変わるメンバーとは、「先ず仲良くなること」を心がけながらも、「九条の会の活動は大切、今出来ることを！」と工夫する渡辺さんご夫妻です。



北斗高校前宣伝 頑張ってくださいとカンパも

7月10日、5人の参加で行われました。学園祭準備で忙しい中、声を掛けると快く署名をしてくれました。日本の核兵器廃絶の運動が国連で高く評価され、国連ロビーに署名を入れるツインタワーが設置されたことを話すと「すごいですねー！頑張ってください」と100円カンパしてくれました。核兵器廃絶37筆、原発ノー35筆寄せられました。



開成高校前宣伝

8月21日（火）3時30分
次の世代へ平和のバトンを大切に
多くの方の参加をお願いします。